

日本ノ労働者運動ハ、分散シテ防衛闘争カラ革命的大衆行動ヘノ發展ニ於ケル轉向點ニ立ツテキル。大衆ノ急進化過程ハソノ速慶ヲ加ヘテキル。ストライキ運動ハ不斷ニ高マリツ、アリ、一切ノ産業部門ヲ捉ヘタ、プロレタリアートノ廣汎ナ諸層ガストライキ闘争ニ引キ入レラレテキル。男女労働者ノ最も遅レタ層スラ活動性ヲ増大シテキル（織維婦人労働者ノストライキ運動ノ擡頭）、ストライキ闘争ハ明白ナ階級の本質ヲ帯ビテ、アル。ストライキハ益々頑強ニ執拗ニナツテキル。ストライキガ反復シテ起ル場合ハ殖エテキル。要求ノ水準ハ高マリツ、アル。以前一九二九年ニ至ルマデハストライキガ警察ノ許可スル範圍ヲ出ルコトハ比較的稀デアツタガ、今デハストライキガ官憲トノ激烈ナ街頭戦トナツテ奔リ出ル場合ハ益々頻繁トナリ、運動ノ革命的・戦國的傾向ヲ明カニシテキル。運動ノカ、ル傾向ハ、日本ノプロレタリアートガ資本家ト、労働階級ノ生活利益ノタメノ闘争ヲ拘束シテ抑壓スル警察支配トニ對スル逆襲ニ進マント努メテキルコトヲ證據立

テ、キル。

以前ニハ農村ノ争議ノ大部分ガ平和的、合法的ナ形態ノ中ニ經過シ平和的調停又ハ裁判所ノ判決トイフ誤ツタヤリ方デ終ツテキタガ、今ヤ農民ト地主トノ革命的衝突ノ數ハ到ル處ニ急速ニ増加シテキル。地主ノ邸宅ヤ財産ヲ燒キ拂ツタリ、裁判所ヤ警察署ノ建物ヲ破壊シタリスル場合ハ以前ヨリ頻繁トナツテキル（例ヘバ栃木縣、新潟縣等ニ於テ）。二、三ノ場所ニ於テハ農民及ビ漁民ノ不滿意ガ地方當局ニ對スル自然發生的ナ暴動、蜂起ニ轉化シテキル、（千葉縣、富山縣等）「土地ヲ農民ヘー」「労働者ト農民ノ同盟」トイフスローガンハ益々觀マレテ來テ居ル。労働者ト農民ノ同盟ノ思想ハ大衆運動ノ實踐ニ浸透シ始メテキル。都爾者労働者ヲ農民ノ行列ハ先頭ニ立ツ場合、農民ガストライキ中ノ労働者ノ應援ニ走セザル場合ニ次第ニ殖エテキル。人民大衆ノ中ニ生ジテキル轉換ノ過程ハ、又、支配階級ニヨツテ増レ、今日マデ廣汎ナ大衆ノ階級意識ヲ賦ラセル最も重要ナ道具ノ一ツ